

# 令和7年度 岡山県立玉島商業高等学校 第3回学校運営協議会 議事録

日 時：令和8年2月17日（火）14:00～16:30

場 所：会議室（管理棟2階）

出席者：9人（11人中）

## 1 開 会

会長挨拶：

玉島未来づくりツアーでの生徒の活躍や、地元の大学生との交流について触れ、生徒の主体的な活動を高く評価した。

校長挨拶：

2学期以降の修学旅行（地震や雪の影響を乗り越えての実施）や、全商検定9種目1級合格者が2名誕生した快挙（県内でも非常に稀な成果）について報告。生徒一人ひとりの成長を実感していると述べた。

## 2 生徒成果発表

3年生4名が、地元企業3社へのインタビューを基に、企業と若者のミスマッチ解消に向けた提案を行った。

内容：企業側の「内定辞退の多さ」と学生側の「地元企業の情報の少なさ」のギャップに着目。

SNSを多用する企業に対し、高校生は進路資料室の紙情報を重視している実態を指摘した。

提案：高校1年生を対象とした企業訪問や、仕入れから販売までを経験するインターンシップ、情報共有のためのパンフレット作成を計画。アンケートで80%以上の満足度を得ることを目標とした。

質疑応答：委員からは、「学生」と「高校生」のターゲットの明確化や、活動の継続性（後輩へのバトンタッチ）について助言があった。生徒たちは「自分たちが卒業しても、次の後輩たちに活動を繋げていきたい」と意欲を示した。

## 3 令和7年度 学校評価（最終報告）について

校長より、8つの具体的施策に対する自己評価の説明が行われた。

主な達成状況：

教師力の向上：各部活動の加入率維持やICT利活用が進み、概ね目標達成（B評価）。

社会人基礎力：オープンスクールでの在校生の活躍により、入試倍率1倍超を達成（A評価）。

100周年準備：実行委員会の立ち上げやイメージキャラクターの作成が進んでいる。

委員からの意見：「自己評価が厳しすぎるのではないか」との指摘があり、特に英語検定3級の合格率が目標（70%）を大きく上回る86%であったことなどから、BからAへ引き上げるべきとの合意が得られた。

## 4 令和8年度 学校経営計画書（案）について

校長より、創立100周年を迎える令和8年度の計画が提示された。

重点目標（キーワード）：

1. 自律：伝統を誇りに自ら行動する。

2. 協働：他者と協力し課題に取り組む。

3. 進路：将来を見据えた自己実現。

4. 信頼：地域・保護者から愛される学校。

5. 修養：社会人基礎力と素直な心の醸成。

「修養」の選定理由：徳を磨き、人格を高めるプロセスを、生徒にもその意味を考えさせた

いという願いから、あえて格調高い言葉を選んだ。

100周年：「伝統の上に胡坐をかくのではなく、新たな目標に向かい前進する環境をつくる」とした。

#### 5 令和8年度 学校運営協議会の運営について

現委員の任期満了に伴い、次年度の体制については学校側で検討を進め、後日改めて個別に連絡することが伝えられた。

#### 6 連絡事項

#### 7 閉会

会長総括：

評価の「余白」を埋める前向きな議論ができたこと、生徒と地域が繋がる機会を今後も増やしていきたいと締めくくった。

校長謝辞：

委員を「玉商の応援団」と称し、今後も地域の声を学校経営に反映させていく決意を述べて閉会した。